



《 校 訓 》

拓 く



《 学校教育目標 》

「未来を拓くこども」
～やさしく かしく たくましく～

兜沼小中学校 学校だより 10 号

R7.1.31 発行

今年もよろしくお願い致します

校長 堀 博 樹

あけまして おめでとうございます。

保護者・地域の皆様におかれましては、令和7年の新春をご健勝にてお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。本年も、兜沼小中学校の子どもたちにとって、また、保護者・地域の皆様にとって、良い年となりますようご祈念申し上げます。

昨年は、元日に能登半島地震、9月には奥能登豪雨、また、8月には日向灘を震源とする地震が起こり、今年に入って再び地震に襲われるなど、大きな被害をもたらしました。現在も避難生活を余儀なくされている方々もあり、早期の復興を心より願っております。改めて、お亡くなりになられた方々に対し、謹んで深い哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さま方に心からお見舞い申し上げます。そして今年は、阪神・淡路大震災の発生から30年という節目の年を迎えます。学校も安全・安心の確保に向け、今後も安全対策・防災教育に取り組んでまいります。

新しい年がスタートした。お正月は穏やかだったようだが、旭川の自宅から戻ってからは雪かきの毎日。

「カメムシが多い年は大雪になるよ」去年の秋、子どもたちから教えてもらった。確かに、去年の秋は学校の中にカメムシが多かった。ガムテープでカメムシを退治しながら「え～そうなの？ほんと～？」と軽く聞いていたのがまずかったのか、いざ冬になると「本当だ！」子どもたちが言っていたことが現実になる。あの時もっとカメムシを退治しておけば…間もなく住宅の屋根と地面が雪でつながり「かまくら」となりそうである。

かつて下川で勤務していた。下川町も雪が多い。学校のすぐ裏に小さいものも含めると3台のジャンプ台が設置されている。まさにジャンプの町。放課後は選手たちが飛んでいる姿を見ることができた。現在も活躍中の葛西紀明選手や伊藤有希選手を輩出した町でもある。（伊藤選手が下川名物のクリームアンパンを買いに来たのを見かけたことがある。学校にも来てくれ、その時は、丁寧に対応していただき、とても素敵な方だった）年に数回ジャンプ大会が開催され、教職員は役員となり大会運営に携わる。もちろん中学生にも選手がいて、なかにはジャンプをしたくて遠くから転校してくる生徒もいた。（自分が勤務していたときには東京から転校してきた生徒もいた）みんなヘルメットをかぶり、あのスーツに身を包み、華麗にジャンプをきめる。我々は計測員としてランディングバーンの端に列になって並ぶ。役員の方からは「自分のところにブーツの真ん中が着地したら札をあげて」といわれるものの真ん中があまりわからない。勇気を出して札を上げて、自分と別の場所の計測員も札を上げており、慌てて引っ込める。最終的には全体をみている総合計測員みたいな方が距離の最終決定を行うのであるが、自分の近くに着地するたびにびくびくした。ある大会でのこと。いつも通り教職員は役員となり、その日も教職員が計測員にあたっていた。「まもなく競技が始まりますので、計測員の方は配置についてください」責任者の方が伝える。慣れた計測員の方を先頭に、計測の位置へ移動。その際にランディングバーンを横切る。何かの拍子にバランスを崩した。「あっ！」という声が聞こえ振り返ると、後ろにいたはずの彼の姿がない。「あ～～」という悲鳴とともに、必死に手をこちらに伸ばした悲しい顔の彼と声が下へ下へ。必死にとどまろうとするも、なすすべもなく、気持ちが良いくらい加速して雪しぶきをあげながら下へと遠ざかっていく。それはそれは見事に最後まで。ようやく止まると、なぜか周りから惜しめない拍手が…もちろんそのあと選手たちの素晴らしいジャンプにも拍手がおくられていた。その後、短期間ではあるが彼は町で一番有名な人となった。

さて、巳年は再生と変革の年。これまでの努力や準備が実を結びはじめ、勢いを増していく年、幸運に導かれる年となり、新たなスタートに適した時期でもあると言われているようです。学校もジャンプ同様、飛躍の年となるよう教職員一同努力してまいりますので、今年もご理解・ご協力をお願いいたします。

後期後半が始まりました！



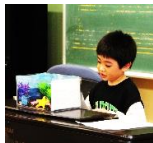
■1月16日(木) 後期後半が始まりました。23日間の冬休みが終了し、学校も活気を取り戻したように感じました。今年の冬休みは降雪が多く、すでに校舎の一部の屋根はたくさんの雪が積もっています。始業式では小学5・6年生、中学2・3年生が冬休みの反省と後期後半に向けた抱負を述べてくれました。皆さんそれぞれの冬休みの反省や学年のまとめの学期として、後期後半を有意義に過ごしたいというお話をしてくれました。その後、各教室に戻り冬休み中の課題の提出や休み中の反省などを行いました。後期後半は46日間です。(卒業生は41日) 締めくくりをしっかりとって次の学年に繋げてほしいと思います。



自由研究発表会

スキー授業

■1月23日(木) 5・6校時に小学校の自由研究発表会を行いました。各自が興味のあることについて調べたり、制作して全校児童・生徒の前で発表しました。一生懸命取り組んだことがよく伝わった発表でした。



■1月24日(金) にスキー授業を行いました。今回は小学1～中学2年生までで、当日は1時間目に通常授業を行い、2時間目から豊富温泉スキー場に移動しました。初級者～上級者までを5つのグループに分け、それぞれの状態にあわせて、レッスンしました。次回は2月7日に2回目を予定しています。長岡さんご夫妻・白田さんにご協力いただきました。ありがとうございました。



冬の自然体験学習

今後の予定

- 2月 3日(月) 草の根教育実習(養護教諭～7日)
- 4日(火) 委員会活動
- 5日(水) 文協テスト 校内研修
- 6日(木) 小学校体験入学・説明会 ALT
- 7日(金) スキー授業
- 10日(月) スキー予備日
- R7 前期役員選挙告示
- 11日(火) 建国記念の日
- 12日(水) 職員会議
- 13日(木) 私立高校A日程入試
- 14日(金) 参観日・懇談会
- 17日(月) 職員会議
- 19日(水) 委員会活動
- 20日(木) 職員会議 ALT
- 21日(金) R7 前期役員選挙 任命式
- 職員会議
- 23日(日) 天皇誕生日
- 24日(月) 振替休日
- 25日(火) 職員会議

■1月28日(火) ポラリス・ネイチャーガイズ&コンサルタンツの嶋崎暁啓さんをお招きし、「冬の自然体験学習」を行いました。4校時には小学1～2年生がスノーシューをはいて学校周辺を散策しました。校地内にある植物の説明や、シマエナガが生息している事などを教えていただきました。午後からは小学3年生～中学生が豊富町自然公園に移動し、同じようにスノーシューをはいて散策しました。自然公園内にある植物や動物の足跡の観察、そり滑りなどを楽しんできました。全校児童生徒が豊富町の自然について学んだ1日でした。

